

「神奈川県循環器病対策推進計画（素案）」パブリックコメントに対する意見

2022 年 1 月 17 日

米国医療機器・IVD 工業会（AMDD）

以下のとおり意見を申し上げます。

該当箇所：

P10（第 4 章 個別施策 第 1 節 循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等
第 1 項 現状と課題）

意見 1：

未病改善に貢献するため、次の一文を追加することを提案いたします。

○ また、循環器病には、生活習慣にかかわらず、先天性疾患、遺伝性疾患、感染性疾患、加齢などを原因とする疾患等、様々な病態が存在する。

理由：

上記一文は、国の「循環器病対策推進基本計画」P4「2. 循環器病の特徴並びに循環器病対策に係るこれまでの取組及び課題（循環器病の特徴）」に、当初の案から追記されたものです。

「循環器病」には多くの疾患が含まれます。それらの疾患には、生活習慣だけが原因ではない先天性や加齢によるものも含まれ、それぞれ対策が異なります。「未病」の改善や各疾患リスクの管理を行うための診断、経過観察、適切なタイミングで治療を行うことが、県民の皆さまの健康寿命延伸に大変重要と考えます。

該当箇所：

P13（第 4 章 個別施策 第 1 節 循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等
第 1 項 現状と課題（特定検診））

意見 2：

心不全とその原因疾患の早期診断・治療介入のため、下線部分を追加または河川のように変更することを提案いたします。

○ 循環器病は、早期の診断・治療介入が必要です。BNP または NT-proBNP の測定で心不全の、聴診で弁膜症や心房細動の、心電図検査で心房細動の早期診断につながるとする報告があります。循環器病の主要な危険因子～（以下省略）。

○ 心房細動の発見率向上や心不全の状態をモニタリングするため、デジタル機器を活用して効率的にデータを収集するなど、デジタル技術の導入を推進します。

理由：

心不全はあらゆる心臓疾患の終末像と言われ、その主な原因疾患は不整脈、心筋梗塞、高血圧、弁膜症、心筋症です。毎年の特健健診で、血清 NT-proBNP の上昇変化により心不全の兆候をつかみ、心雑音の有無や心電図異常により原因を特定・対処できれば、心不全の重症化を食い止めることが可能です。

心房細動などの短い検査時間では発見することが難しい疾患については、県民の健康状態を継続的にモニタリングすることにより発見率の向上が期待されます。また、

心不全では、ステージが進むと急性増悪による入退院を繰り返すなど、衰弱が加速していきます。この突然生じる心臓のポンプ機能の破綻を、急性増悪が起こる約 1 か月前に検出することが可能な遠隔モニタリング技術も開発されています。

日常生活にデジタル技術を活用することで、未病の改善、重症化予防、健康寿命の延伸、患者並びに家族の QOL 改善、医療費の適正化につながるものと考えます。

なお、「地域のかかりつけ医と多職種のための心不全診療ガイドブック」（厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）を参考にいたしました。

用語解説：

BNP：ナトリウム利尿ペプチド、BNP 高値は心不全の国際定義に定められており基準値も示されている。

NT-proBNP：N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド、BNP 同様、心不全の指標として国際定義に基準値が示されている。

該当箇所：

P13（第 4 章 個別施策 第 1 節 循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等 第 1 項 現状と課題（循環器病の正しい知識の普及啓発））

P14（第 4 章 個別施策 第 1 節 循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等 第 2 項 取り組むべき施策（全般的な施策））

意見 3：

下線部分を追加することを提案いたします。

○ ～循環器病の疾患別の前兆及び症状、発症時の対処法並びに早期受診の重要性、治療方法に～

理由：

優れた医薬品により多くの命が救われていることは事実ですが、例えば、加齢により石灰化した心臓弁を改善する薬は存在しません。一般的に、医療機器による治療は、効き目が即効的で根治的ですが、日本人は欧米人と比べ外科治療を過剰に恐れ、薬による対症療法を長期間続ける傾向があります。

医療機器も含めた最新の治療方法・選択肢を予め知って正しく恐れることは、疾患について知ることと同じくらい重要なことと考えます。

県民（患者さんやご家族）の皆さまが、循環器病の治療の選択肢を正しく理解することは、アドヒアランス（※患者さんが治療方針の決定に賛同し積極的に治療を受けること）の向上と、予防・診断・治療・予後に必要とされるイノベーションへの理解促進が得られると考えます。アドヒアランス向上は、治療への好循環だけでなく適切なデータの蓄積にもつながります。

該当箇所：

P18・19 ～循環器病の疾患別の前兆や症状について～（厚生労働省 HP より引用）

意見 4：

心不全に関する記載を追加することを提案いたします。

（記載例）

【心不全】

虚血性心疾患や不整脈の他、心臓の筋肉の病気（心筋症）、心臓に備わっている逆流防止弁の異常（弁膜症）あるいは先天的な問題など、何らかの原因により心臓のポンプ機能が低下して身体が必要とするのに十分な血液を送り出すことが出来なくなること

を「心不全」といいます。

心不全には短時間で急激に発症する急性心不全と、慢性的に心機能が低下して比較的緩やかな経過をたどる慢性心不全があります。急性心不全で重篤な場合には呼吸困難や血圧低下に伴うショック状態となり、命に関わる場合もあります。慢性心不全では、足のむくみや運動時の息切れ・だるさなどを自覚することが多いのですが、時に急激な血圧上昇や身体負荷、薬物の中断などで急に病状が悪化、治療による改善を繰り返します。結果として悪循環に陥り徐々に心機能が低下していくことも珍しくありません。

（出典 心疾患の治療と仕事の両立お役立ちノート

https://www.mhlw.go.jp/content/shinsikkan3_s.pdf）

以上